

# 1 連結業績概要 (① 前期比)

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	当上期	前上期	増減	増減率	特記事項
<b>売上高</b>	<b>938.7</b>	<b>674.6</b>	<b>264.0</b>	<b>39.1%</b>	<売上> 日本国内・海外ともに鋼板商品の販売回復などから増収。
(売上総利益)	149.6	113.7	35.9		
(販管費)	93.0	83.1	9.9		
<b>営業利益</b>	<b>56.5</b>	<b>30.5</b>	<b>26.0</b>	<b>85.3%</b>	<営業利益> 国内:コスト増加により減益 海外:業績改善により増益 <営業外損益> 受取配当金増加、持分法による投資利益の増加など
(営業外収益)	16.2	12.9	3.2		
(営業外費用)	1.4	1.4	0.0		
<b>経常利益</b>	<b>71.3</b>	<b>42.0</b>	<b>29.2</b>	<b>69.5%</b>	
(特別利益)	0.1	0.1	0.0		
(特別損失)	0.8	0.4	0.3		
<b>税引前利益</b>	<b>70.7</b>	<b>41.7</b>	<b>28.9</b>	<b>69.4%</b>	
(法人税等)	17.4	13.1	4.2		
(非支配株主利益)	12.2	△ 0.4	12.6		
<b>親会社株主利益</b>	<b>41.1</b>	<b>29.1</b>	<b>11.9</b>	<b>41.1%</b>	<包括利益> 当期:四半期純利益 53億、その他有価証券評価差額金 △17億、為替換算調整勘定 29億 ほか
(EPS(円/株))	142.74円	99.75円	42.99		
<b>包括利益</b>	<b>66.3</b>	<b>85.6</b>	<b>△ 19.2</b>		

※当期より収益認識会計基準を適用しています。なお、2021年3月期については収益認識会計基準を遡及適用しています。

# 2 連結業績概要 (② 予想比)

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

連結上期 (億円)	実績	予想 (2021年8月開示)	差異
<b>売上高</b>	<b>938.7</b>	<b>920.0</b>	<b>18.7</b>
<b>営業利益</b>	<b>56.5</b>	<b>50.0</b>	<b>6.5</b>
<b>経常利益</b>	<b>71.3</b>	<b>64.0</b>	<b>7.3</b>
<b>親会社株主利益</b>	<b>41.1</b>	<b>36.0</b>	<b>5.1</b>

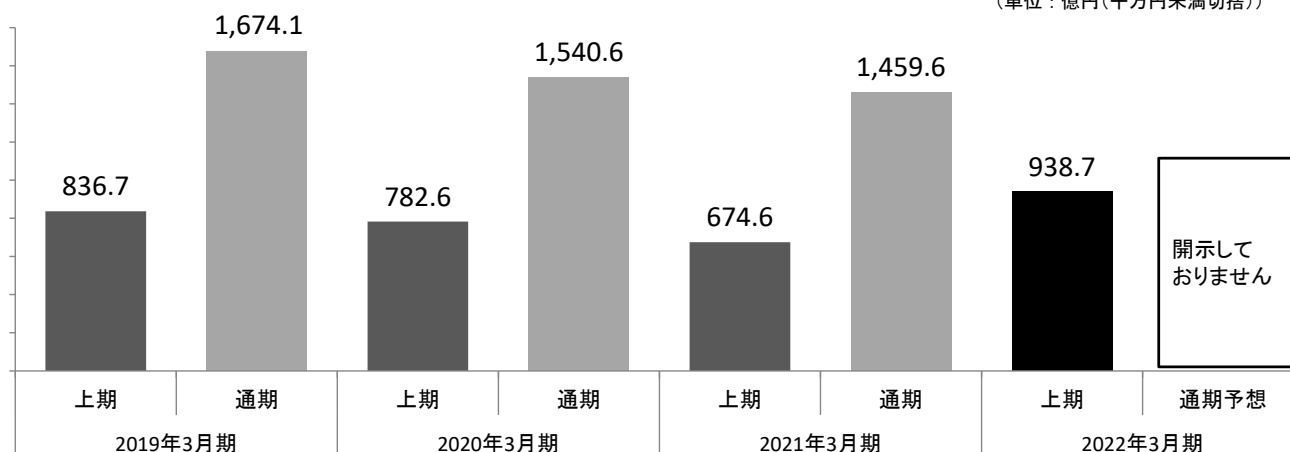
## 【特記事項】

- 利益: 資源、エネルギー等の各種コストを保守的に想定していた

# 3 連結売上推移

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))



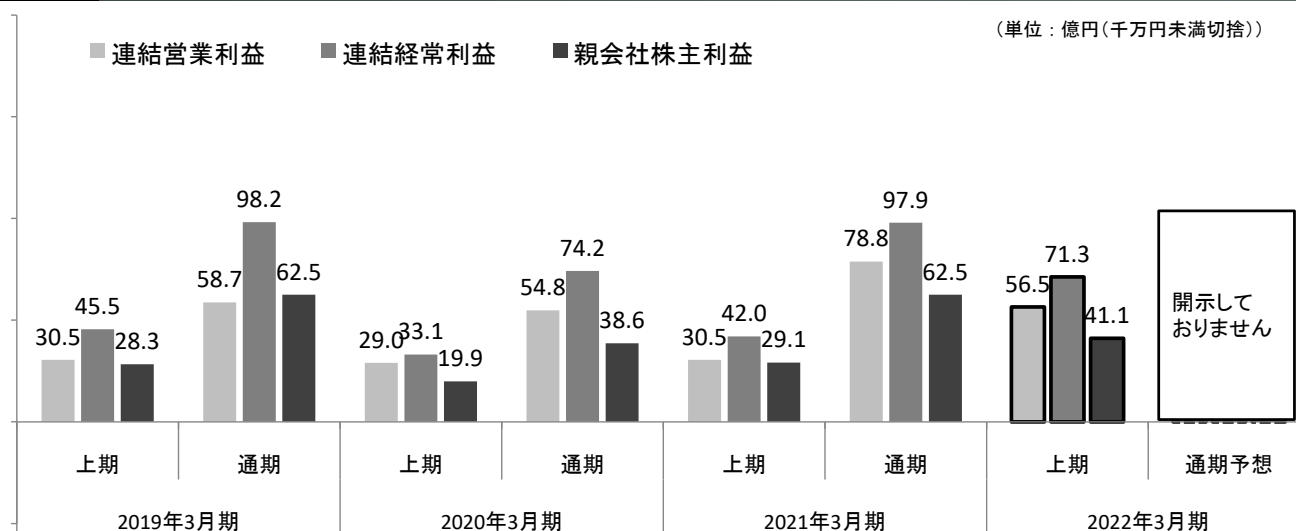
## 【増収 264億の主な内訳】

- ・ 淀鋼+120億 (464→584)  
主に鋼板商品の販売回復。エクステリアは堅調に推移
- ・ 台湾SYSCO社+103億 (150→254)  
台湾国内および輸出 (主に北米 (カナダ) 向け) の販売回復
- ・ 中国YSS社+36億 (30→67)  
黒字化に向けて販売強化に取り組んでいる、建材向け、家電向け (日系家電) の販売量増加
- ・ タイPPT社+4億 (16→20)  
高付加価値製品の販売が堅調

# 4 連結損益推移

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))



## 【営業利益 26億増益の主な内訳】

- ・ 淀鋼△10億 (35→25)  
販売数量増もコスト負担増加などから減益
- ・ SYSCO社+28.9億 (△0.8→28)  
市況回復にともなう販売数量増と販価上昇により損益改善
- ・ YSS社+5.5億 (△4.6→0.9)  
高付加価値製品 (GLカラー) の販売増により黒字化
- ・ PPT社+0.4億 (△0.2→0.1)  
原料コスト上昇分の販売価格への転嫁に注力

# 5 セグメント概況

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	売上高			セグメント利益		
	当上期	前上期	増減率	当上期	前上期	増減率
鋼板関連	898.0	632.8	41.9%	55.3	32.5	69.7%
ロール	11.6	14.0	△16.8%	0.4	△1.3	—
グレーチング	16.6	15.9	4.1%	0.5	0.4	10.5%
不動産	6.2	6.1	1.3%	4.1	4.3	△4.5%
報告セグメント計	932.6	669.0	39.4%	60.4	36.1	67.3%
その他	6.0	5.6	7.5%	1.9	0.5	252.7%
合計	938.7	674.6	39.1%	62.3	36.6	70.1%
調整額				△5.7	△6.1	
PL計上額	938.7	674.6	39.1%	56.5	30.5	85.3%

# 6 連結財政状態概要

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	当上期末	前期末	増減	増減率	特記事項
総資産	2,284.6	2,260.0	24.5	1.1%	<資産> (流動) 売上債権、棚卸資産 などが増加 (固定) 有形固定資産の増加、 投資有価証券評価減少など
(流動資産)	1,256.2	1,238.1	18.0	1.5%	
(固定資産)	1,028.3	1,021.8	6.5	0.6%	
負債	430.4	457.0	△26.6	△5.8%	<負債> (流動) 仕入債務の増加、 未払法人税減少など (固定) 退職給付に係る負債減少 など
(流動負債)	273.4	283.7	△10.2	△3.6%	
(固定負債)	156.9	173.3	△16.4	△9.5%	
純資産	1,854.2	1,802.9	51.2	2.8%	<株主資本> 当期: 純利益41.1億、配当△11.5億 など
(株主資本)	1,432.6	1,400.6	32.0	2.3%	
(その他包括利益累計)	225.8	224.1	1.7	0.8%	
(非支配株主持分)	193.5	175.9	17.6	10.0%	<その他包括利益累計額> 有価証券評価差額金減少など
(BPS(円/株))	5,756.16	5,416.59	339.57		
自己資本	1,658.5	1,624.7	33.7	2.1%	
自己資本比率	72.6%	71.9%	0.7pt		

# 7 連結CF概要

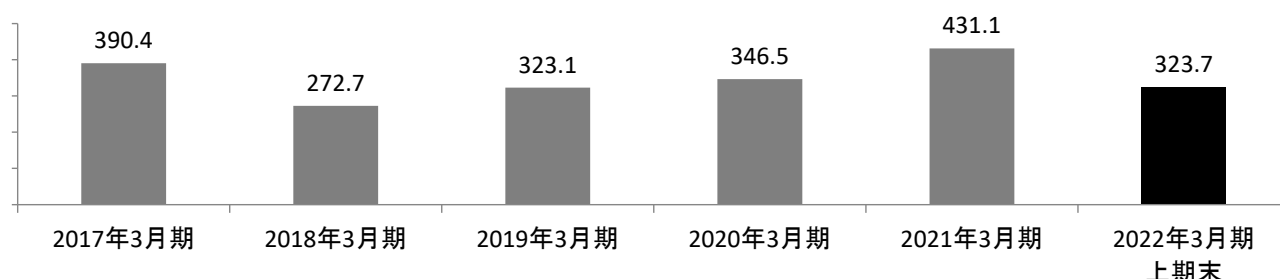
株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	当上期	前上期	前年同期比		特記事項 (記載金額は概略値)
			増減	増減率	
営業CF	△71.3	88.2	△159.6	—	売上債権、棚卸資産の増加など
投資CF	△30.7	△7.1	△23.6	—	有形固定資産の取得による支出増加など
財務CF	△15.2	△24.0	8.8	—	当期: 配当△11.6億 など
現金及び同等物	323.7	403.8	△80.1	△19.8%	

(単位: 億円)

## 現金及び同等物残高



淀川製鋼グループ 2022年3月期 第2四半期 決算説明資料

Copyright(C) 2021 Yodogawa Steel Works, LTD. All Rights Reserved



7

# 8 設備投資と減価償却

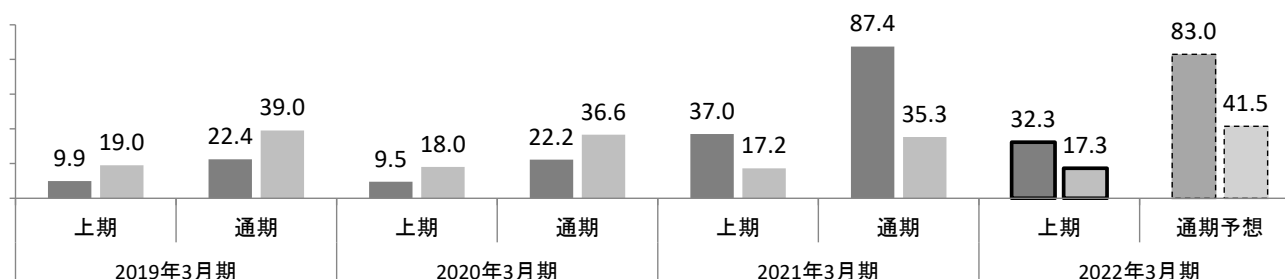
株式会社 淀川製鋼所

(有形固定資産のみ。建設仮勘定を含む資産計上ベース。単位: 億円(千万円未満切捨))

	当上期	前上期	前年同期比		特記事項 (記載金額は概略値)
			増減	増減率	
設備投資(連結)	32.3	37.0	△4.7	△12.7%	福井ヨドコウ社新工場20億(建設仮勘定)ほか
減価償却(連結)	17.3	17.2	0.0	0.3%	大きな変動なし
設備投資(個別)	9.6	21.0	△11.3	△54.2%	前期: 柏井社宅12億(建設仮勘定)ほか
減価償却(個別)	8.4	9.4	△1.0	△10.9%	大きな変動なし

(単位: 億円)

■ 設備投資額(連結) ■ 減価償却費(連結)



淀川製鋼グループ 2022年3月期 第2四半期 決算説明資料

Copyright(C) 2021 Yodogawa Steel Works, LTD. All Rights Reserved



8

# 9 連結設備投資概要

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	会社	案件	完成年月 (完成予定を含む)	総投資額 (資産計上ベース)
当期実施	淀鋼	市川工場 事務所棟建替	2022年1月	9.9
	淀鋼	呉工場 5号めっきライン駆動装置更新	2021年12月	3.9
	福井 ヨドコウ	新工場新設(第1段階)	2021年10月	49.0
今後予定	福井 ヨドコウ	新工場新設(第2段階)	2022年秋	27.5

# 10 連結業績予想

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

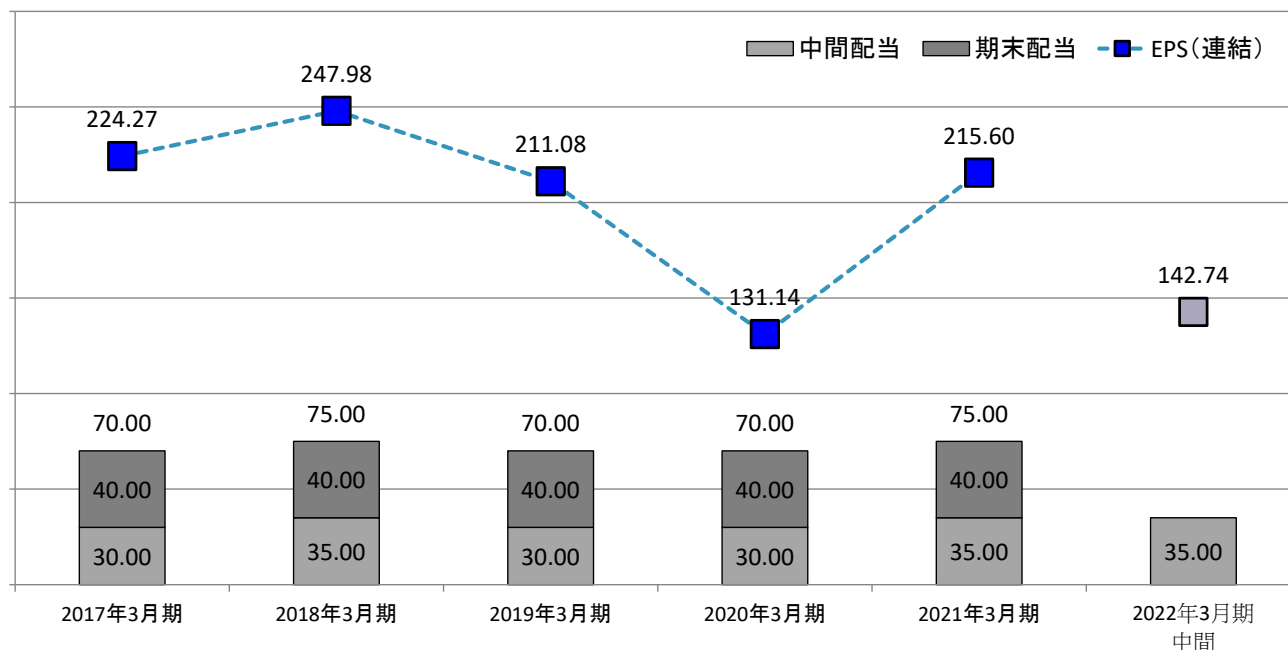
2022年3月期		通期 予想	前期比 増減	上期 実績	前期比 増減	(参考) 下期予想	前期比 増減
連結	売上高	開示して おりません		938.7	264.0	開示して おりません	
	営業利益			56.5	26.0		
	経常利益			71.3	29.2		
	親会社株主利益			41.1	11.9		
個別	売上高			584.9	120.0		
	営業利益			25.5	△10.2		
	経常利益			36.9	△10.5		
	純利益			26.4	53.9		

- 国内外の鉄鋼市況動向など事業環境が極めて不透明であることから、業績予想を現時点で合理的に算定することが困難となっております。

## 11 配当

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 円/株)



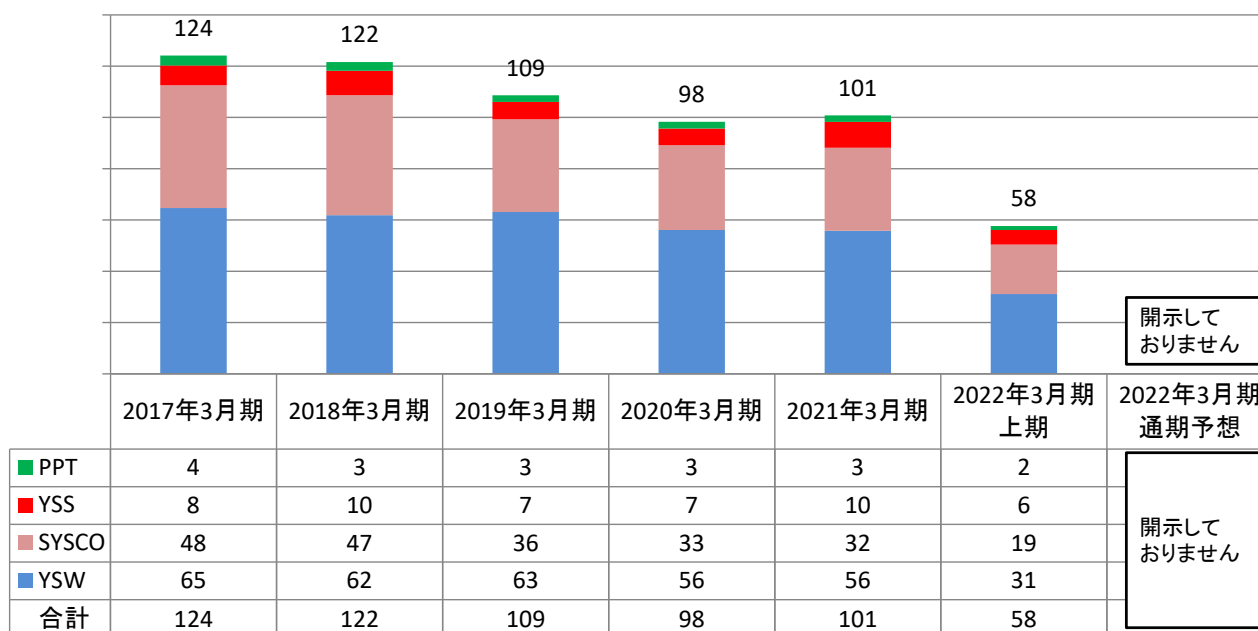
- ・ 中間配当は35円といたします。
- ・ 期末配当予想は開示しておりません。

## 12 ご参考①

株式会社 淀川製鋼所

【グループ鋼板商品の一級販売量推移】連結消去は考慮せず

(単位: 万トン)



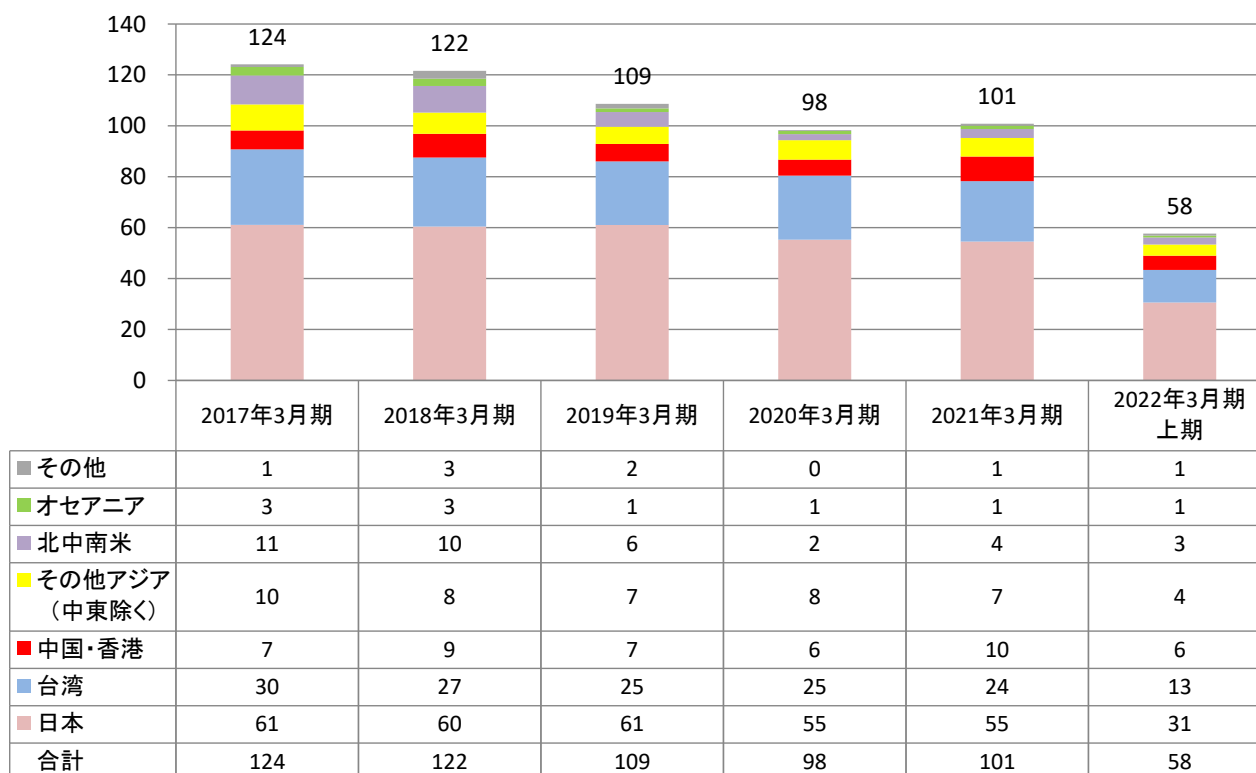
- ・ SYSCO社の販売数量は輸出・台湾国内ともに増加
- ・ YSS社は通期黒字化に向けての販売強化

# 13 ご参考②

株式会社 淀川製鋼所

## 【グループ鋼板商品の向先別一級販売量推移】連結消去は考慮せず

(単位：万トン)





## 14 その他トピックス①-1

株式会社 淀川製鋼所

### 【エクステリア商品に係る生産・物流体制の再構築(進捗状況)】

- 2020年4月設立の福井ヨドコウ株式会社は、エクステリア商品の新工場を建設中。(2021年11月予定 第1段階を稼働)





福井ヨドコウ第二工場(1号棟)

- 2021年4月1日に会社分割により当社の建材商品およびエクステリア商品の生産機能の一部等を福井ヨドコウに承継。

## 15 その他トピックス①-2

株式会社 淀川製鋼所

### 【エクステリア商品に係る生産・物流体制の再構築(進捗状況)】

株式会社 淀川製鋼所			福井ヨドコウ株式会社	
福井事業所 生産品目	ヨドハウス		会社 分割	第一工場 吸収分割にて承継 (2021年4月1日効力発生)
	ダストピット (小型ステーション用) サイクルスペース ほか			
大阪工場 生産品目	ヨド物置エスモ		生産 移管	第二工場(1号棟) 完成 (2021年11月稼働予定)
	ヨド倉庫 ヨド大型倉庫 ヨド自転車置場 ダストピット (集合住宅用)			第二工場(2号棟) 建設中 (2022年秋稼働予定)



## 16 その他トピックス②

株式会社 淀川製鋼所

### 【ヨド物置発売50周年記念「Colemanモデル」発売】2021年4月受注開始

50TH ANNIVERSARY LIMITED EDITION

YODOKO MONOOKI × Coleman

LIMITED EDITION 限定2,000棟  
4月8日より  
ヨド物置取扱店にて  
予約販売開始

購入者向けキャンペーン  
コラボ物置の購入者の方  
600名抽選で  
Coleman商品が  
当たる!!

下取商品の中から  
いずれかおひとつ  
プレゼント!  
PRIZES

YODOKO

http://www.yodomonooki.jp/

コールマンジャパン株式会社とコラボレーションし、限定2000棟即時完売。  
今回のコラボレーションをきっかけに幅広い世代の購買層をターゲットに商品のブランディングを  
行い「おもしろい・楽しいモノ」を商品化、提供していきたいと考えている。